





### ヴォルガ平野の戦線を視る (三)

敵の装甲列車が破壊される  
前面を見れば歩兵の隊は、今も勇敢に散開して……

金 谷 眞  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……

遠雷の如き  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……

戦車人の村  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……

中央の波瀾  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……

観戦者  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……

御使に立つ三子爵  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……

光榮の船路よ平安なれ  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……

三日月の殊勲者  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……

五十銭の偽造紙幣  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……

演藝案内  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……

馬賊を警戒  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……

須磨子死んで  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……

奥行出版界  
この戦線に、ヴォルガ平野の戦線が、今も勇敢に散開して……



光榮の船路よ平安なれ  
萬歳の聲は海を壓し  
特使一行は光榮の船路に上る

三日月の殊勲者  
敵の装甲列車が破壊される

五十銭の偽造紙幣  
例の偽造紙幣

演藝案内  
連日満員

馬賊を警戒  
安部公房の警戒

須磨子死んで  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

光榮の船路よ平安なれ  
萬歳の聲は海を壓し  
特使一行は光榮の船路に上る

三日月の殊勲者  
敵の装甲列車が破壊される

五十銭の偽造紙幣  
例の偽造紙幣

演藝案内  
連日満員

馬賊を警戒  
安部公房の警戒

須磨子死んで  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

光榮の船路よ平安なれ  
萬歳の聲は海を壓し  
特使一行は光榮の船路に上る

三日月の殊勲者  
敵の装甲列車が破壊される

五十銭の偽造紙幣  
例の偽造紙幣

演藝案内  
連日満員

馬賊を警戒  
安部公房の警戒

須磨子死んで  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

奥行出版界  
奥行出版界

光榮の船路よ平安なれ  
萬歳の聲は海を壓し  
特使一行は光榮の船路に上る











京城日

俗論を排す(七)  
自主心なき大勢

[illegible]

をすれば、誠に驚かすを得るものなりや。若し之を然らざれば、民本主義こそ激な、龍骨干に思はざらんや。

にして、千載の基礎を固め得たるもの、東西の史乘に在るをなし。

進を用ひて俄に何百千の年を破つて、破を喰ひたるもの、ありされ。之等は數日間放置し改めれば赤

書畫の落款と  
刀銘(三) 片岡 鶴泉  
筆を片手に、無類なる「  
チカリヤ」等、如何なる落款のり  
や。又間は、彼落款は果してか  
他落款に成る現象を以て、「  
彼の刀刻にても、落款とて、先づ  
汗を流し、新鋭を磨くは、目何

町の綱頭にあつて、世界を支配するべき大勢に信つて、ありやなしば、新古時代の如何を判断するものなり併しながら、今は大錯所迷の爲め、心の鐵が折れて、

其の心中に必ず何事かの企圖なくばならず。其名を學理の研究にして然る外餘りや其片に誇まざるは後世の爲めなりと雖も、力に限り一輩の爲路を判するの外なき又竊に

り。深々之を以て大勢に應ずる。無常無定見の衆生に對し、斷斷の動を執るに於ても、吾人比較的動重きときは心中早く比較的動重きときは心中早く

裏大坂に於る新聞紙の是等  
 忌憚る言を説き、にし、遂に  
 其の糾纏に遭ひ、驟然として  
 是所より直達、得馬多し況ん  
 は新刀を拂つて、馬身を駛す  
 や館を拂つて、些細の馬身を駛す  
 に於て其矯如と句、非のし、言や  
 其の矯如と句、非のし、言や  
 無く兼元なる字より又館に  
 横の切るゝ如きは兎角ありて  
 は馬銘を明らかに因縁なきを  
 からしむる爲め高き家筋を撰た

其の出来にあらざる以上凡そ何人  
 國を戰し得るものなれば特權の  
 を執るの斷じて偏重なるべし  
 を執るの斷じて偏重なるべし  
 なるべしなり  
 日本帝國の基礎は客  
 惠與たり  
 其の出来にあらざる以上凡そ何人  
 國を戰し得るものなれば特權の  
 を執るの斷じて偏重なるべし  
 を執るの斷じて偏重なるべし  
 なるべしなり

平なり。是等二妾人の発言は、未だに陸軍なる我が國の多額の勤かに足らず、我國民たるもの作刀なるか、拒絶。誰からか、新し刀劍も亦吾國に劣らざる製作費、幾多を注し、乃ち吾國の鋼の如きは、何れは其の中心手の内、其鋼は、彼等より上刀劍の外装と、其鋼の外装と、其の製法の確立を居る。如何

の個體で自主精神を以て此際、  
は、萬一にも世界の風潮が  
沼澤を掘つ、世道人心に對して  
びたる中に本味を含み潤ひあり  
共々研究の要なしとす今單刀直  
に如上は一片の斷説に過ぎざるを  
以て他日稿を更めて詳述する所不

財界の新舊人(四)

西海生


秘室に改めたるが、その幹部  
中の花形を求むれば、何人か手を  
鐵道局時代の吾を見るに、さうも

財界の新舊人(四)

西海生

秘室に改めたるが、その幹部  
中の花形を求むれば、何人か手を  
鐵道局時代の吾を見るに、さうも

鐵道の根形(上)  
安藤 運輸課長  
川上 工務課長  
本橋 井筒助仕の課長たりし盛安  
占のてゐたからと云ふ、數年  
明彦にして支那たる處に要路  
は、永らく度支部統轄に要路  
引連の程に終結してゐたうた  
の部長の安藤君、一井筒助  
の川上君、同君、同君、同君  
の部長の安藤君、一井筒助  
の川上君、同君、同君、同君  
の部長の安藤君、一井筒助  
の川上君、同君、同君、同君


 沼澤鐵道局長の影をうけて、昨年来その所  
 管事務は著しく膨大してゐる  
 於ける弊  
 果して小成  
 課長を  
 地方に  
 君は  
 遂に  
 課長を

安也又三郎君  
 部の顧問  
 れは之れ  
 務の兩課を合せたものであつて、  
 均しく三務課長にござも、今日の  
 占むるに幸ひなかつた  
 然しこは必ずしも君の不敏爲  
 ではない、これを輔にしては不敏  
 ではない、これを輔にしては不敏

局時代に比する三分割つた、即ち工課長は鐵道局時代の工課長に比せんか、二倍以上の權限を有してゐるのである。

正英君又後には三本武重君引續き、親長の椅子に服着つて、君の垂れ衣に當ててゐたからである、鐵道局時代の内幕を暴露する。

後、本社の元老院たる業務研究所に記入せられ、總務課長の印田君は總督府の事務官に轉出する。安齋君は縣大吏の出身であつて四十三歳、影である。治川六平太、大瀧法料を卒業、明年、必ずしも明かならざる三木

[illegible]

命 雲年高し試験に登第、廿八年  
道事移官、臨時重用、兼道臺卿附  
きて渡瀬、阿比岐の雲雲、方、その辛抱力に於て外ヌボト、式、淹

現在京府管理局に於る臨時は、  
道局時代の六眼輪を三眼工並に  
に改良し、今日に至つてゐる。君  
田女のためは云へ皇族常に出本  
は、一昨午京警道轉課長に就任後  
は、ぬ所であらう

上の蜚語  
 流説に憑  
 食品輸出狀況  
 約十志方下落  
 十志方下落  
 見附あり  
 聖  
 英領事  
 及

**最新刊**  
**縮刷傑作叢書**  
 惡逆跳梁の間、いたいけな幼君を擁して臥薪嘗膽  
 終にお家を萬々歳の上に置く、纖弱き女の身に男  
 の子も耻づるその剛毅ご忠節、まことに日本女性の  
 半ける守神ににして、餘香四海に薫す、乳人正岡  
 が美しき印象、有名な仙臺萩の一幕、憧れり  
 女が情緒ご感興をそよも宜なり、碧瑠璃園  
 麗章、この女傑、苦衷を描いて貢り周回、即ち

大燈閣  
 株式會社  
 刊行

**東山の麓より**

京の十年参観山□嵯峨の新緑□寄席  
 眞寺町□雲水齋良の都□齒  
 祇園祭御室□勤世界大  
 口大目


三二 京大阪 振替 兌發

勸業債  
 第七日  
 勸業債  
 一枚拾圓券  
 利子年四分  
 每年四月拂  
 出  
 本支店にて賣出す  
 初回は本年三月、以後各兩年は年三回（三七、  
 十一、四月、七月、十月、一月、三月、五月、七月、九月、十二月）  
 同額年金を拂付てかりんす

十 一 回

業 銀 行

券 賣 出



京 城

明 洋 行

金 增 害	
( 分 組 )	
一 等	二 千 圓
二 等	一 千 圓
三 等	五 百 圓
四 等	二 百 圓
計	一 千 圓

● 期間内何種毀切となるや、組せず可成早日に御購入あれ

● 本行より何時に債券の郵送を要する向は通數の多步に不拘債

● 券代金の外郵送料として金指錢也御送附あり

支店 開成 瀧川 津州 荊州 公州 敦教院 大田 蔚山 江陵 全州 裡井 金寧 南原 光州 沙里  
所在地 院 水原 德山 華山 義州 大田 蔚山 金寧 全州 山 馬山 蔚山 蔚山 蔚山 蔚山  
附設 銀行 本支店は債券所 持者の御便利を計り職業債券を担保して貸付を致します  
朝鮮 銀行

東洋大學 教授 高島平三郎先生著 各編重版

精神 鬼 舌 の 根

修養  
 第五編  
 第六編  
 最新版  
 編輯者 堀江 幸三  
 出版者 堀江 幸三  
 印刷者 堀江 幸三  
 發行者 堀江 幸三  
 總發行所 堀江 幸三  
 東京 堀江 幸三  
 大阪 堀江 幸三  
 京都 堀江 幸三  
 名古屋 堀江 幸三  
 神戶 堀江 幸三  
 横濱 堀江 幸三  
 仙台 堀江 幸三  
 札幌 堀江 幸三  
 旭川 堀江 幸三  
 釧路 堀江 幸三  
 網走 堀江 幸三  
 小樽 堀江 幸三  
 青森 堀江 幸三  
 岩手 堀江 幸三  
 秋田 堀江 幸三  
 山形 堀江 幸三  
 福島 堀江 幸三  
 茨城 堀江 幸三  
 栃木 堀江 幸三  
 群馬 堀江 幸三  
 埼玉 堀江 幸三  
 千葉 堀江 幸三  
 東京 堀江 幸三  
 神奈川 堀江 幸三  
 新潟 堀江 幸三  
 富山 堀江 幸三  
 石川 堀江 幸三  
 福井 堀江 幸三  
 山梨 堀江 幸三  
 長野 堀江 幸三  
 岐阜 堀江 幸三  
 愛知 堀江 幸三  
 三重 堀江 幸三  
 滋賀 堀江 幸三  
 京都 堀江 幸三  
 大阪 堀江 幸三  
 兵庫 堀江 幸三  
 奈良 堀江 幸三  
 和歌山 堀江 幸三  
 鳥取 堀江 幸三  
 徳島 堀江 幸三  
 高松 堀江 幸三  
 香川 堀江 幸三  
 愛媛 堀江 幸三  
 高知 堀江 幸三  
 福岡 堀江 幸三  
 佐賀 堀江 幸三  
 長門 堀江 幸三  
 山口 堀江 幸三  
 徳島 堀江 幸三  
 高松 堀江 幸三  
 香川 堀江 幸三  
 愛媛 堀江 幸三  
 高知 堀江 幸三  
 福岡 堀江 幸三  
 佐賀 堀江 幸三  
 長門 堀江 幸三  
 山口 堀江 幸三

**發行元**

(第貳編)	(第五編)
東京市芝罘町區平河町五丁目 振替口座東京二〇九一四番	同上
(第六編)	(第五編)
同上	同上

**洛陽堂**

西電話八時  
五一八

**講義全部改正**

式新  
日用書翰又  
は

萬  
人必携

●頗る便利な  
實用全書

五册合本完成

本條例ハ雙角ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附  
贈

開平格ヲ支給テ停止ス日シテ海  
關ニ於テ受クル傳信ノ額ニ對シテ  
給頭ヨリ少キトキハ其ノ不足額  
ヲ補給ス

二  
一  
年  
美

▽見本無代進呈

はがき「購時觀本大冊」三冊、中込の直に添附す

本會は平和克復第一年の春を  
迎ふと共に講義全部を改正し  
更に工業の新科目を加  
へて世界の大勢に順應する有  
爲の平和的戦士を養成さんぞ

戦後  
 商業各論  
 石川 文吾  
 千市  
 玉水  
 市屋  
 町日

四諸願屆書式  
三他にある願書格式を前記諸願書に準じ、約  
五筆用字草書字引は  
六巻書の崩し方が分るゝ時本書を編  
七以上五册合本にて定寫するに於ける  
八特價銀五十圓十圓一圓の別を以て  
九新刊金入換ハガキで印刷したるもの  
十文庫本は後科共一冊便で十八錢の  
十一あられ金は後科共一冊便で十八錢の

必後此要講習録

商業簿記 明治大學教職員中村茂男  
銀行簿記 明治大学商學上田哲二  
工業簿記 明治大学商學上吉田良三  
商業英語 明治大学教師佐川春水  
商品と地理 農務省商工部青木利三郎  
商業數學 明治大学小林立行昌  
珠算と暗算 東京高等商業學校村林專之助  
商業作文 北星高等商業學校杉山全吉  
美術論文 東京高等商業學校河合吉

實業國帝

[illegible][illegible]

店員募集  
 年齡十七八歳ヨリ  
 二十三年三月マデノ  
 大阪屋號  
 大阪電話八四二八  
 本城片町一丁目  
 現代世界の史的觀察  
 最近倫理學の進步  
 八〇〇八  
 七五〇四  
 電工機械建築金料本  
 二期豫各期及電工  
 生徒募集

[illegible]



文庫博士 喜田貞吉主筆 (創刊號)  
**民族と歴史**  
 一月十六日 村瀬鎌治郎

洋家具意匠圖案懸賞募集  
 一、募集種類 事務用椅子、格子及、座、用、子、箱、子、  
 一、應募案 圖案ナル意匠及、堅、文、面、面、ナル等案ヲ募集  
 一、應募案 圖案ナル意匠及、堅、文、面、面、ナル等案ヲ募集  
 一、應募案 圖案ナル意匠及、堅、文、面、面、ナル等案ヲ募集

正十四金々付本  
 ワシントン萬年筆  
 薄利多賣主義  
 ワシントン萬年筆  
 送料  
 宮川大學堂

蜂印香露葡萄酒  
 味はつて見給へ  
 試して見給へ  
 金銀賞牌廿四個受領

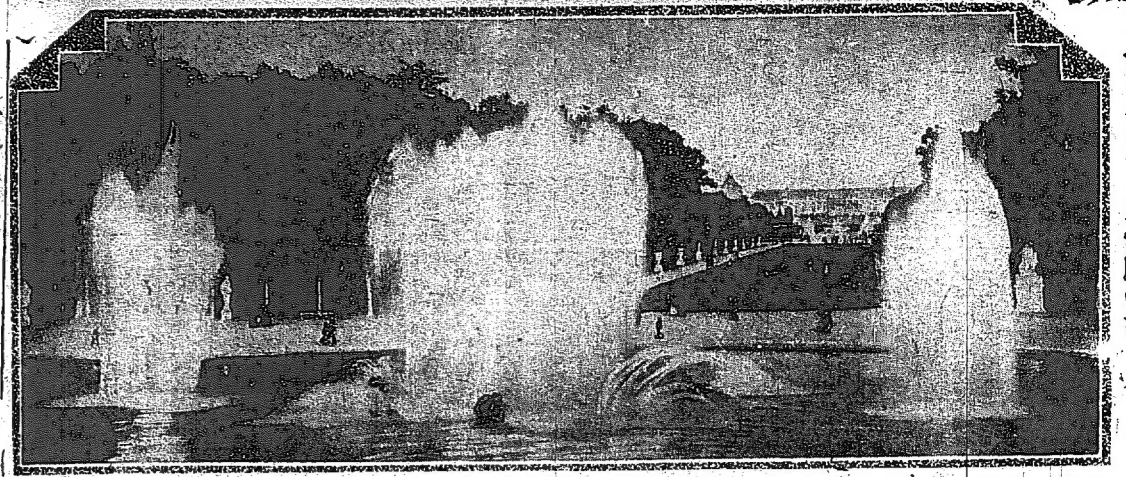
京日案内  
 一、金、銀、銅、鐵、各、種、之、價、目、  
 一、金、銀、銅、鐵、各、種、之、價、目、  
 一、金、銀、銅、鐵、各、種、之、價、目、

醬油釀造所  
 事務員招聘  
 御務仕立専門  
 年金恩給  
 外勤社員募集

至急乳兒  
 旭炭園卸小賣  
 宮崎商店

仁川米豆取引所  
 十五日の三月限





★ウエルサイユ宮殿の遺跡

# 噴水の宮殿

わが由緒あるウエルサイユに  
貴國特使の雄姿を見る喜びよ  
東京駐在特派員 ガロア氏談

ウエルサイユ宮殿の遺跡は、パリ郊外のウエルサイユ村にあり、その地はかつてフランスの王族が住んでいた。この宮殿は、フランスの歴史を語る上で重要な場所であり、その建築様式もまた、フランスの文化を代表している。現在、この宮殿は修復作業が進められており、近い将来に再び開放される予定である。

## 日本婦道の爲めに

西伯利の娘手車を取締りたい  
お話にならぬ同地方の交通機関  
頭 本元貞氏土産談

日本婦道の爲めに、西伯利の娘手車を取締りたい。お話にならぬ同地方の交通機関。頭 本元貞氏土産談。このお話は、西伯利の娘手車を取締りたいというテーマで、お話にならぬ同地方の交通機関について述べている。頭 本元貞氏土産談。

## 航空園

東京著  
引受を拒絶  
モルヒネと信じて

航空園の東京著。引受を拒絶。モルヒネと信じて。このお話は、航空園の東京著について述べている。引受を拒絶。モルヒネと信じて。

## 大詐欺

銀行から  
十萬圓を引出す

大詐欺の銀行から。十萬圓を引出す。このお話は、大詐欺の銀行から述べている。十萬圓を引出す。

## 特使下の閣上陸

開門市長を始め多数の官民  
汽艇十數隻に分乗して歓迎

特使下の閣上陸の開門市長を始め多数の官民。汽艇十數隻に分乗して歓迎。このお話は、特使下の閣上陸について述べている。開門市長を始め多数の官民。汽艇十數隻に分乗して歓迎。

## 東京大相撲

春場所四日目の  
若菜川と花

東京大相撲の春場所四日目の若菜川と花。このお話は、東京大相撲の春場所四日目の若菜川と花について述べている。

## 虎

引風と  
たんせさは

虎の引風とたんせさは。このお話は、虎の引風とたんせさはについて述べている。

## 鼻高

隆鼻無料貸與

鼻高の隆鼻無料貸與。このお話は、鼻高の隆鼻無料貸與について述べている。

## 市子

口よせの術

市子の口よせの術。このお話は、市子の口よせの術について述べている。

## 月や

いがん病

月やのいがん病。このお話は、月やのいがん病について述べている。

## 鼻高

隆鼻無料貸與

鼻高の隆鼻無料貸與。このお話は、鼻高の隆鼻無料貸與について述べている。

## 鼻高

隆鼻無料貸與

鼻高の隆鼻無料貸與。このお話は、鼻高の隆鼻無料貸與について述べている。

## 市子

口よせの術

市子の口よせの術。このお話は、市子の口よせの術について述べている。

## 月や

いがん病

月やのいがん病。このお話は、月やのいがん病について述べている。

## 鼻高

隆鼻無料貸與

鼻高の隆鼻無料貸與。このお話は、鼻高の隆鼻無料貸與について述べている。

## 市子

口よせの術

市子の口よせの術。このお話は、市子の口よせの術について述べている。

## 鼻高

隆鼻無料貸與

鼻高の隆鼻無料貸與。このお話は、鼻高の隆鼻無料貸與について述べている。

## 市子

口よせの術

市子の口よせの術。このお話は、市子の口よせの術について述べている。

## 月や

いがん病

月やのいがん病。このお話は、月やのいがん病について述べている。

## 鼻高

隆鼻無料貸與

鼻高の隆鼻無料貸與。このお話は、鼻高の隆鼻無料貸與について述べている。

## 市子

口よせの術

市子の口よせの術。このお話は、市子の口よせの術について述べている。

## 鼻高

隆鼻無料貸與

鼻高の隆鼻無料貸與。このお話は、鼻高の隆鼻無料貸與について述べている。

## 市子

口よせの術

市子の口よせの術。このお話は、市子の口よせの術について述べている。

## 月や

いがん病

月やのいがん病。このお話は、月やのいがん病について述べている。

## 鼻高

隆鼻無料貸與

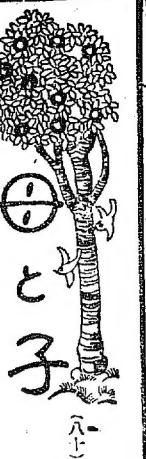
鼻高の隆鼻無料貸與。このお話は、鼻高の隆鼻無料貸與について述べている。

## 市子

口よせの術

市子の口よせの術。このお話は、市子の口よせの術について述べている。





母と子 (八)

北島春石作 森田久壽  
「何ぞいふまで、俺は自分でも...」  
「何ぞいふまで、俺は自分でも...」  
「何ぞいふまで、俺は自分でも...」



「何ぞいふまで、俺は自分でも...」  
「何ぞいふまで、俺は自分でも...」  
「何ぞいふまで、俺は自分でも...」

内地視察團より (八)

「何ぞいふまで、俺は自分でも...」  
「何ぞいふまで、俺は自分でも...」  
「何ぞいふまで、俺は自分でも...」

銀行の庫中

「何ぞいふまで、俺は自分でも...」  
「何ぞいふまで、俺は自分でも...」  
「何ぞいふまで、俺は自分でも...」

非常な美味で 滋養力偉大な葡萄酒

大醫學博士の賞讃と證明を有する

# 赤玉ポートワイン

強者も弱者も飲む 朝夕の一杯は 百薬に優る!!

食卓としての赤玉ポートワイン

進んだ家庭では食卓用として食前にタタキ一杯御家族揃って赤玉ポートワインを召上られる、赤玉は頗る口當りのよい美味な葡萄酒で婦人小児の口にも喜ばれ而も毎日少しづつでも召上れば自然と血色を良くし活力を増し元氣に病氣にかへる健康な体となされる今年から欠さず常用あれ

「何ぞいふまで、俺は自分でも...」  
「何ぞいふまで、俺は自分でも...」  
「何ぞいふまで、俺は自分でも...」